

2015年春号

ぷらう 52号



発行：TEACCHプログラム研究会

<会長のつぶやき>

TEACCHプログラム研究会会長 内山 登紀夫

平成17年度（2005年）に施行された発達障害者支援法から10年が経過し、ようやく法改正が検討されている。

当時、この法律の成立に多少なりとも関与した経験があるが、このような法律ができて、何も変化がないに違いないというシニカルな見方がされることが多かったように思える。私事になるが、ちょうどこの法律が国会で成立した時に「本当のTEACCH」（学研）を書くためにNCのあちこちを訪問していた。成立時の連絡はシャーロットTEACCHセンターを見学しているときに受け、日本の発達障害支援の制度が整備される第一歩になると思った。

それから10年でさまざまな変化があった。日本では各地に発達障害者支援センターが設置されたことをはじめとして発達障害に関する行政サービスは少なくとも量的には増加し、専門家・行政の関心は飛躍的に高まったように感じている。TEACCHではディレクターが変わり、ショプラー先生は逝去され、ディレクターも変わり新しい体制でスタートした。

DSM-IVが5に改訂され広汎性発達障害から自閉スペクトラム症に呼称が変更された。

このような変化は目に見える。しかしながら、個々の子どもと家族が受けている支援の質の変化を把握するのは難しい。発達障害という言葉は定着してきたし、診断を受ける子どもたちも増えてきた。さらに従来はあまり注目されていなかった成人期や中年期、老年期の支援も論議されるようになってきた。また知的遅れのない自閉スペクトラム症の場合には高率に精神科的障害を併存していることも明らかになってきた。しかし、それに相応した各年代、各領域のプロフェッショナルが育っているのかというと、まだまだ心もとない。

最近、小児科医が発達障害のことをどのくらい診ようと思っているのかアンケート調査をした。最も多かったのが「できれば避けたい」の37%。「避けたい」が10%。5割近くがいまでも発達障害の診断を「避けたい」と思っていることがわかった。

これをお読みの支援者の方や親御さんにも、子どもの診断がつかなくて困ったという方や成人の発達障害の人の相談にのってくれる専門家を探すのに苦労した人は少なくないだろう。

発達障害者支援法を改正する際に、どのようなことが必要か？会員の方にはぜひ声をあげていただきたい。

<TEACCHプログラム研究会第12回実践報告会in大阪2015を終えて>

実行委員長 森田 隆

平成27年3月7・8日、大阪の地で第12回実践報告会が開催されました。大阪支部の運営委員（実行委員）14名で計画から運営までさせて頂きました。京都支部の方にも受付等手伝って頂きました。皆さんの協力があったらどうか開催できたと考えています。

記念講演として京都大学大学院の十一元三先生の講演をお願いしました。先生は、とても多忙にも関わらず100枚以上のスライドを準備してくれました。また、講演の内容は、脳科学という難しい内容を我々にも理解できるように噛み砕いて分かりやすくお話ししてくれました。講演中、先生のやさしいお人柄が滲み出てきて、良き支援者の一面も伺えました。本当に素晴らしい講演だったと感じています。

先生が示された講演の内容を書かせて頂きます。

『自閉症スペクトラムの今～脳科学からみた支援のあり方』

<講演内容の構成>

第1部：ASDのサブタイプ

～DSM-IVによる自閉性障がい、アスペルガー障がい、PDD-NOSを振り返ります

第2部：脳の大きな区分とその特徴

～マクロな構造（2通り）に分けて脳部位のはたらきを大きくとらえます

第3部：脳研究の方法

～脳のはたらきを調べるのに用いる方法論とその特徴を解説します

第4部：認知科学研究の知見

～次の7項目にわけて研究成果を紹介します

- 1) 覚醒と緊張
- 2) 対人的注意
- 3) 表情認知、感情理解、共感
- 4) 模倣
- 5) 自己意識
- 6) 言語連想
- 7) その他の検査所見

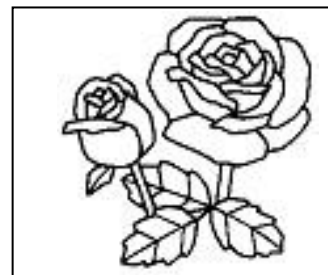
第5部：動物モデル研究

～側頭葉内側部の損傷によってASDに近い行動が観察されています

第6部：これまでの研究からみえてきたこと

～ASDの神経基盤を推定し、様々な介入アプローチとの関係を考えます

今回の大阪での実践報告会は会員の皆様の暖かい声援があったから実現できたものだと感謝しています。本当にありがとうございました。



実践研究大会に参加して

大分支部 坂元 愛
大分子ども療育センター言語聴覚士

今回、私は初めてTEACCH研究会に参加させていただきました。講演会や実践報告会の雰囲気アットホームな感じで、意見交換がしやすい環境であり、私にとって大変有意義で刺激的な時間となりました。

実践報告をまとめる中で、子どもたちの変化を振り返ることができたこと、保護者にも子どもへの対応の仕方に変化がみられたことに改めて気付くことができました。そして、実践報告をし、多職種の方々から意見をいただけたことは、改めて自分たちの療育の見直しをするよいきっかけとなりました。正直なところ、日々の業務に追われ、評価・再評価を定期的に行いながら療育を実施できていないところがありました。今回の報告会で評価・再評価を数値化、データ化していくことの大切さをアドバイスいただいたことで、今後は療育の中で評価・再評価する時間を定期的に作っていくようにし、子どもたちの変化を客観的にみられる形にしていこうと思いました。また、保護者の考え方を共通のツールで評価できるシートについては初めて知ることができたので、そちらについても今後の療育の中で取り入れていこうと思いました。

また、その他の実践報告を拝聴させていただいた中で、“感情レンジャー”については大変興味深く、ぜひ療育の中でも取り入れてみたい教材でした。そして、感情をコントロールしていくことは生涯の課題にもなり、今後も療育をしていく中で念頭におきながら1人1人に合った感情コントロール方法を見つけていくことが大切であると思いました。

実践研究大会に参加して

香川支部 越智 早智

香川支部の代表として実践研究大会へ参加させていただきました。十一先生のご講演は、脳科学の視点から見た自閉症スペクトラムについての非常に興味深いお話でした。医学的な部分の話は少々難しく感じましたが、特に表情認知や感情理解など認知科学研究の知見のお話には、夢中になって聞き入ってしまいました。そして、各種アプローチを行う根拠についても知ることができました。さらに、香川支部から実践報告させていただいた「カンジョウレンジャー」の取り組みも全国のみなさんに知っていただくことができ、たくさんのご意見をいただけたこと嬉しく思います。大阪発達総合支援センターの方も言われていたように、感情のコントロールやパワーコントロールを自分で調整していくための取り出し練習と、それらが必要な場面で即座に支援できる体制づくりの大切さを改めて感じました。

この実践大会で学んだことは、先日の3月の例会で報告させていただきました。例会には、保護者、教員、福祉施設の関係者、看護師等の様々な立場からの参加がありました。PASSOさんの思春期における本人支援の取り組みから、家庭・教育・福祉・医療それぞれの立場でできることを考え、共通認識をもって連携する大切さを確認できたように思います。今回の実践大会で学ばせていただいた視点を、今後の支援に活かしていきたいと思えます。

大会を主催してくださった大阪支部の皆様、貴重なご講演や実践報告をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

第12回実践研究大会in大阪2015に参加して考えたこと

滋賀支部 高橋 ひろみ

数年ぶりに実践研究大会に参加しました。初日だけの参加でしたが、会場は満員の盛会でした。

実践報告では、本人の感情や自己理解など、内面に向かった支援が多く報告されていたことが印象的でした。自閉症の人が、自分自身の感情や特性に気づき、自分をコントロールしながら、自分の楽しみを持って自分らしく生きていく、そんな支援の実践が積み上げられてきていると思いました。

また、日々の実践の中で、その人に必要なことは何なのかを考え続けると、様々なサービスやシステムが必要になり、必然的に拡大していく。自閉症の人が穏やかに自分らしく生きていくためには、地域のシステムが必要なんだとも再認識しました。

「やっぱり、実践研究会には毎回参加しなきゃ、TEACCHプログラムは、年々進化している」そう思いました。

実践研究大会に参加して

大阪支部 乾 美紀子
大阪府立砂川厚生福祉センター

障がい者支援の仕事を始め、6年経とうとしている中、第12回実践研究大会in大阪で、実践報告をさせていただく機会をいただきました。私の勤めている、大阪府立砂川厚生福祉センターいぶきは、強度行動障がいの状態を示す方への支援に特化した、公立施設です。

支援方法は、日々変化しており、行動障がいの軽減にはどのような支援が有効なのか、私自身も毎日勉強をしながら、悩んでいる中でしたので、このような場で、実践報告し、皆さんの意見を聞ける機会をいただけたことは、自分やチームの支援を見直す、とてもいい転機となりました。

大勢の方の前で発表するのは、ほとんど初めての経験で、お聞きいただいた皆さんには、わかり難い点や、聞き取り難い点などが多々あったのではと反省しておりますが・・・それでも、多くの方が質問をしてくださったり、「参考になりました」と、感想を言っていただけたことは、とてもうれしく、この様な場で発表をする機会をいただけたことに大変感謝しています。

もうひとつ、強く感じたことは、強度行動障がいの状態を示す方の支援に悩んでいる支援者の方がとてもたくさんいらっしゃるのだということです。発表前後の時間に、学校や作業所、相談支援などいろいろな所属の方から、「うちにも強度行動障がいの状態の方がいます」という話を聞かせていただきました。また、「他の各都道府県にもこのような入所施設があることが望ましい」という内山先生のお言葉もいただき、全国には、支援を必要としている行動障がいのある方がたくさんいて、その方々の支援を進めていくためにも私たちが日々実践を深めていくことは、とても大切なことなのだと感じました。今後も、いろいろな現場で支援に携わっている方に報告できるよう日々実践を積み重ねていきたいと強く感じています。

3月7・8日の実践研究大会は、私にとって12年ぶりくらいのTEACCHプログラム研究会でした。大学卒業後すぐに、TEACCHプログラム研究会で勉強させていただき、草の根活動のようにこつこつと支援を広め、実践を積み重ねていく先輩方に励まされ成長させていただいた研究会です。

プライベートでは子育てが落ち着き、仕事では、自閉症スペクトラム障がいの思春期専門療育をこつこつと一人一人オーダーメイドでカスタマイズし、成功体験を積み重ねていき、今回の実践発表となりました。久しぶりの大阪支部の皆さんは変わらず明るく元気で、メンバーも変わらずで、18年前に右も左も分からないまま療育を始めたころを思い出しながら楽しく発表させていただく事ができました。

今回は2次障害を十代前半で発症し、苦しい学齢期を周りの本人理解と本人支援を通して社会に飛び立っていくまでのお二人の軌跡をお話しさせていただきました。会場には、まるで応援団のように幼児期、学齢期に療育をさせていただいた保護者の方や、現在中高生で療育真っ最中の保護者の方や先生方が笑顔で話しを聞いてくださり、大きな勇気を頂きました。

また、内山先生のコメントを頂けるという事で緊張しながらも嬉しくて 思わず時間を延長してしまったのですが、内山先生に「楽しそうですね!」「もっと聞きたいです」と笑顔でコメントを頂き、また続編をお伝えできれば・・・とも思いました。

今回の実践発表の内容は、「サポートセンターPASSO」での取り組みです。PASSOの名前の由来は、飛行機を乗降する際の「タラップ」→イタリア語「PASSO」です。意味：「ステップ、足元、気軽に」といった意味です。

発達障がいもち、学校や地域で生きづらさを抱えている小学生・中高生が、次のステップへ歩みを進めるための橋渡しの支援ができる場所になればと思って「PASSO」という名前をつけました。中高生の療育の場は大阪だけでなく全国でも少ないと思います。開設して3年半。学校や家族とこじれてしまい、苦しくなった方でも、中高生のうちにあきらめず、他機関と連携しながら個別の評価結果から丁寧に本人支援を進める事で、必ず一歩ずつ小さな階段を上ることができる事を実践の中から感じています。若くて元気な中高生たちが笑顔になるように続けてきた支援を皆さんと共有できる場を与えていただき、本当にありがとうございました。



＜平成27年度第1回理事会報告＞

平成27年度第1回理事会は、3月7日（土）10:00～12:00に、大阪山西福祉記念会館 小会議室で行われました。この理事会での決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

参加理事：内山、村松、宇山、笠合、中村、草川、中井、益本、小川、藤井、丸田、井上、森田、高原、内田、入井、三ヶ田、下田、原崎、五味

議案1. 平成27年度理事および役割の確認

- ・笠合竜明前石川支部代表理事が理事会の同意を得、内山会長の委嘱により常任理事（啓発・ホームページ担当）に就任しました。

議案2. 平成26年度活動報告

- ・年度当初の計画にはありませんでしたが、8月に自閉症カンファレンスNIPPONのポスターセッションへ参加し、大変好評でした。

議案3. 平成26年度支部助成金事業報告

議案4. 平成26年度会計報告、特別会計報告

- ・平成26年度の会費納入から、コンビニ払いのシステムを導入しました。これまでよりも会費の納入率が上がり増収になったことは、コンビニシステム導入の効果と考えられます。

議案5. 平成26年度各支部事業報告

- ・各支部から、平成26年度事業及び活動状況の報告をしました。
- ・多くの支部に共通した傾向として、若い世代の新入会が少なく、会員の年齢層が上がっています。高い専門性を求める研修を求めがちですが、会の発展のためには、今は、若い学び始めた人たちが気軽に参加できるスタイル（基礎講座を行うなど）の検討が必要ではないか等の意見が出されました。
- ・支部によっては面積が広く交通の便も悪いため、定例の研修会への参加が難しい地域もあり、出張の研修会の開催や研修会報告を毎回発送する等の工夫について報告がありました。

議案6. 平成27年度活動計画(案)

- ・昨年度に続き8月の自閉症カンファレンスNIPPONのポスターセッションに参加し、提供する情報（資料）の内容を検討することしました。

議案7. 平成27年度予算（案）

議案8. コラボレーションセミナー2016の実施について

- ・日時：平成28年2月20日（土）～21日（日） 会場：京都染織会館 シルクホール
- ・講師：Laura Grofer Klinger 氏

（ノースカロライナ大学TEACCH部エグゼクティブ・ディレクター）

- ・参加費について：会員6,000円、非会員12,000円（新会員になると1,000円得になる）

前回は、大阪大学と共同での講師招聘で航空運賃を折半できたこともあり、できるだけ参加し安いように参加費を安く設定しました。しかし、今後は消費税や会場費の値上りが予想され、コラボセミナー開催の継続維持を考えると、前回よりも参加費を値上げせざるを得ないと判断しました。

参加費は、毎回一定とすることが望ましく、コラボセミナーと実践研究大会どちらも会員参加費は同額の6,000円とします。

- ・他機関と共同で講師を招聘することを検討します。
- ・テーマ：「comorbidity and anxiety interventions」ふさわしい日本語訳を検討します。
- ・4事例の発表を予定：高機能、成人期、青年期の事例を5月末までに募集します。

議案9. 平成26年度総会議案

議案10. ぷらう52号（2015年春号）について

- ・記事の分担と記事の形式、発行のスケジュールについて確認されました。
- ・これまで、TEACCH研のホームページに会員限定のページ（TEACCH研の歴史）があり、そのパスワードを「ぷらう」に掲載してきました。しかし、閲覧を会員限定にする必要はないので公開することにし、パスワードの設定をしなことにしました。

議案11. TEACCHプログラム研究会の活動年度について〈総務委員会検討結果の報告〉

- ・ 前回の理事会で、「活動年度を4月～3月に切り替える」ことについて、各支部の意見をうかがいましたが、結論が出ず総務委員会での審議にゆだねることになりました。H26年6月に行った総務委員会で検討した結果、コラボレーションセミナー及び実践研究大会の開催時期を考慮すると「活動年度の切り替えは難しい」と判断し、『活動年度は、現状のまま1月～12月とする』ことになりました。

議案12. その他

- 1) H29年度第13回実践研究大会の開催地について
 次回の理事会で決定します。支部の開催地としての立候補を募集します。
- 2) トレーニングセミナーについて
 延期になっていた大分でのトレーニングセミナーをH28年度に開催予定。準備を進めていきます。
- 3) 事務局担当の順番 次の事務局は平成28年～30年熊本支部。
 熊本 — 北海道 — 佐賀 — 福岡 — 香川 — 愛知 — 石川 —
 東京 — 大分 — 山梨 — 滋賀 — 京都
- 4) 平成27年度第2回理事会の開催日程
 6月27日(土) 13:30～17:00 会場：京都

〈平成27年度総会報告〉

平成27年度の総会は、平成27年3月7日（土）17：30より、大阪山西記念福祉会館において行われました。

総会では、新理事・役員、および以下の5議案について会員の皆様の承認をいただきました。

*平成27年度の理事および役割について ◇…新常任理事 ☆…新理事

支部	H27年度の役割	理事氏名
常任	会長・講師招聘事業	内山登紀夫
常任	副会長・講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長・HP 研修(トレセミ、実践研)	宇山 秀一
常任	研修(トレセミ、実践研)	諏訪 利明
常任	啓発・HP	◇笠合 竜明
北海道		中村 明美
東京		黒田 美保
神奈川	事務局	五味 純子
山梨		中井百合子
石川		☆益本 尚子
愛知		小川 真紀
滋賀		藤井 依子
京都	講師招聘事業	丸田富美代
大阪		森田 隆
鳥取		森田 礼子
香川	広報	☆高原 淳一
福岡		内田 博昭
佐賀		入井 淑圓

大分		三ヶ田智弘
熊本		下田 祐輝

監事：水野 敦之 氏（佐賀）、浜田 美波 氏（大阪）

議案1 平成26年度活動報告

- 2月14日（金） 平成26年度第1回理事会（京都）
- 2月15日（土）～16日（日） コラボレーションセミナー2014（京都）
- 2月15日（土） 平成26年度総会
機関誌『ぷらう』50号（春）発行
- 6月15日（日） 平成26年度第2回理事会（京都）
- 6月29日（日） 平成26年度総務委員会（横浜）
- 8月23日（土）～24日（日） 自閉症カンファレンスNIPPON2014のポスターセッションに参加
- 11月 機関誌『ぷらう』51号（秋）発行

*平成26年度の会費納入から、コンビニ払いのシステムを導入しました。

議案2 平成26年度支部助成金事業について

☆特別会計の用途の1つとして平成24年度、25年度と支部助成金事業を2年間試行実施し支部活動の活性化を支援しました。2年間の試行期間が終了し、特別会計の積み立て金を有効活用できたと判断し、助成金交付は、平成26年度で終了することとしました。平成26年3月末日までに申請された中から、総務委員会で検討し、申請のあった5支部について、申請額の一部の助成を行いました。

平成26年度 助成金交付支部：5支部（鳥取、滋賀、熊本、大分、神奈川）

平成26年度 助成金交付額合計：695,000円

平成26年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告	
*会計年度 平成26年1月1日～平成26年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥2,750,566
会費	¥4,057,476
利息	¥648
合計	¥6,808,690
<支出>	
名簿及び会費管理費(土倉事務所手数料)	¥1,172,232
(4450×2218名+4300×291名+¥99820消費税)	
コンビニ払い手数料(電子システム)	¥214,476
理事会交通費(2回分)	¥851,860
理事会会議費(2回分)	¥158,378
総務委員会会議費	¥3,423
JDD年会費	¥100,000
通信費	¥342,734
FHP作成費・管理費	¥66,130
自閉症カンファレンス(メルセプション派遣費)	¥44,750
謝辞代(TEACCHプログラム研究会名入)	¥64,800
支払手数料(繰込手数料)	¥400
雑費(事務用品・コピー代)	¥1,336
特別会計積立金	¥2,200,000
合計	¥5,322,619
<収支>	
収入¥6,808,690 - 支出¥5,322,619 = ¥1,486,071	
剰余¥1,486,071は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成27年2月10日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 斎崎 知之
平成27年2月27日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 濱田 美波
	水野 敦之

議案3 平成26年度会計報告

参照：平成26年度会計報告
平成26年度特別会計積立金 会計報告
TEACCHコラボレーションセミナー2014 収支報告

*コラボレーションセミナーの会計報告の詳細について、ご質問や記載方法についてのご意見をいただきました。明記・訂正してこの紙面に掲載いたします。

平成26年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告	
*会計年度 平成26年1月1日～平成26年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥2,227,269
一般会計より	¥2,200,000
コラボレーションセミナー運営費戻り分	¥2,596,343
利息	¥926
合計	¥7,024,538
<支出>	
支部対策助成金(5支部)	¥695,000
発達研究大会2015in大阪運営費	¥500,000
支払手数料(繰込手数料)	¥2,464
合計	¥1,197,464
<収支>	
収入¥7,024,538 - 支出¥1,197,464 = ¥5,827,094	
剰余¥5,827,094は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成27年2月10日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 斎崎知之
平成27年2月27日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 濱田 美波
	水野 敦之

議案4 平成27年度活動計画

- 3月7日(土) 平成27年度第1回理事会
- 3月7日(土)～8日(日) 第12回実践研究大会 in大阪
- 3月7日(土) 平成27年度総会
- 5月 機関誌『ぷらう』52号(春)発行
- 6月27日(土) 平成27年度第2回理事会
- 8月下旬 自閉症カンファレンスNIPPON2015のポスターセッションに参加
- 11月 機関誌『ぷらう』53号(秋)発行

*上記以外、必要に応じて総務委員会を開催します。
 *TEACCH研のホームページの内容を充実させます。これまで、パスワードの入力で閲覧できた「TEACCH研の過去の活動記録」のページを、パスワードなしで閲覧できるようにする予定です。また、各支部の情報のページの充実も図ります。御活用ください。

議案6 平成27年度予算

参照：平成27年度予算

＜収入＞	
前年度繰越金	¥1,486,071
会費 (¥2,000 × 2218名 × 0.8)	¥3,548,800
入会金 (¥1,000 × 200名)	¥200,000
合計	¥5,234,871
＜支出＞	
名簿及び会費管理費(土着事務所手数料) (¥460 × 2218名 + ¥300 × 200名 + ¥108028:消費税)	¥1,188,308
コンビニ払い委託料(前期)	
(¥95 × 700名 + ¥500 × 3回 × 2ヶ月 + ¥15,000 × 2ヶ月)	¥98,500
コンビニ払い委託料(後期)	
(¥95 × 300名 + ¥500 × 3回 × 2ヶ月 + ¥15,000 × 2ヶ月)	¥61,500
理事会交通費・宿泊費(2回)	¥1,500,000
理事会会議費(2回)	¥100,000
総務委員会交通費(2回)	¥400,000
総務委員会会議費(2回)	¥30,000
JCOネット年会費	¥100,000
通信費	¥350,000
HP作成費・管理費	¥100,000
雑費(事務用品購入など)	¥30,000
支払手数料(振込手数料)	¥5,000
特別会計積立金	¥1,000,000
予備費	¥270,563
合計	¥5,234,871
↑項目は26年度決算書の並びに合わせています	差額
	¥0

＜収入＞	
前年度繰越金	¥5,027,094
一般会計より	¥1,000,000
合計	¥6,027,094
＜支出＞	
第5回コラボレーションセミナー運営費	¥4,500,000
支払手数料	¥10,000
予備費	¥2,317,094
合計	¥6,827,094
差額	¥0

1) 収入		
科目	金額	備考
参加費	¥752,000	会員 ¥4,000 × 188名
参加費	¥312,000	新入会会員 ¥4,000 × 78名
参加費	¥1,460,000	非会員 ¥10,000 × 146名
運営費	¥4,500,000	H25年度 本部特別会計より
預金利息	¥220	
合計	¥7,024,220	
2) 支出		
科目	金額	備考
会場・機器使用料	¥984,030	シルクホール 2日間(技術スタッフ日当含む)
講師 謝礼	¥792,223	謝礼・航空運賃(後路のみ負担)(¥714,868) 宿泊費(2月14・15・16日) (小切手送金手数料 1万円含む)
通訳 謝礼	¥241,500	謝礼(¥200,000)・宿泊費(2月14・15日)
事務委託費	¥616,200	参加者申し込み・宿泊手配・名簿作成・弁当手配 などの手続き代行(近畿日本ツーリストへ委託)
抄録翻訳代金	¥241,050	業者委託 (¥120,000和訳+¥120,000英訳) 振込手数料 (¥525+¥525)
印刷・発送代	¥973,035	パンフレット・抄録印刷(梱包・送料含む)
	¥4,590	アンケート用紙・スタッフ打ち合わせ資料など
送料	¥244,971	後援名義申請・パンフ送料(後日分) 講師・発表者 飲み物など 宅配料金 会員・支部への抄録発送(¥231,691)
通信費	¥0	
スタッフ関係費用	¥49,100	お弁当22名分=¥23,100 交通費1日目12名 2日目10名 = ¥22,000 事務用品等搬入・搬出時 駐車代(¥2,000×¥2,000)
実践報告者 交通費・宿泊費	¥158,020	宿泊費(4万円)・交通費(実費) 講師・神奈川・佐賀・北海道支部より5名
消耗品	¥13,777	参加者名札・事務用品
役員関係費用	¥108,841	タクシー代・講師、役員交代代・記念品・飲み物・お菓子など
合計	¥4,427,337	

総収入 ¥7,024,220 - 総支出 ¥4,427,337 = 収支残高 ¥2,596,883
 残高 ¥2,596,883 は本部会計に入金します。

以上の通り、報告します。
 平成26年5月16日
 TEACCHコラボレーションセミナー2014
 会計担当 丸田 富美代

各支部活動計画

<北海道支部>

1. 会議（支部関係）

場所：北海道発達障害者支援センターあおいそら／北海道教育大学附属特別支援学校

件名	日時	内容
平成27年度 北海道支部総会	1.20	平成26年度事業報告 決算報告 監査報告 平成27年度事業計画（案） 予算（案）他
第1回運営委員会	2.24	企画研修会について
第2回運営委員会	4.21	企画研修会について
第3回運営委員会	7.14	企画研修会について
第5回運営委員会	9.8	企画研修会について・来年度計画について
第6回運営委員会	11.24	来年度計画について・平成28年度総会について

※平成28年度支部総会は、H28.1.19（火）開催予定

2. 会議（本部関係）

件名	日時	内容	場所
第1回本部理事会	3.7	平成27年度本部事業及び本部運営について 総会議案について	山西福祉記念会館 （大阪府）
平成27年度 本部総会	3.7	平成26年度本部事業報告、決算報告、監査報告 平成27年度本部事業計画（案）、予算（案）他	山西福祉記念会館 （大阪府）
第2回本部理事会	未定	未定	未定

3. 勉強会・研修会

件名	発行時期	内容	件名
第1回	1.20（火）	「特別支援学校におけるTTAP実践」 ※会員限定	附属特別支援学校 土屋 和彦 氏
第2回	5.30（土）	実践報告会「家庭での取り組み」 ※オープン参加	保護者 山本 久子 氏
第3回	6.30（火）	座談会「TEACCHを考えよう（仮）」 ※会員限定	北海道支部運営委員会
第4回	9.1（火）	「自閉症と薬物療法（仮）」 ※会員限定	ゆうあい会石川診療所 高橋 和俊 氏
第5回	未定	自閉症援助技術研究会との共催企画	未定

第6回	10月調整中	「自閉症と家族支援（仮）」 ※オープン参加	鳥取大学 井上 雅彦 氏
第7回	10.28（火）	「自閉症の子育て（仮）」 ※会員限定	保護者 田中 桜子 氏

4. 会報発行

件名	発行時期	内容
第1報	3月上旬	■平成27年度総会報告 ■学習会案内 他
第2報	4月	■ぷらう（本部会報）
第3報	6月中旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第4報	7月下旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第5報	9月下旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第6報	10月	■ぷらう（本部会報）
第7報	12月上旬	■学習会報告 ■総会案内 他

< 石川支部 >

日時	支部主催の 事業内容	演題・講師	会場	会報	運営 委員会
1月18日 9:30～12:30	総会 講演会	「アスペッ子&自閉っ子&きょうだい児」 じゅん氏 (漫画家)	白山市 交流センター	○	
2月22日 9:30～12:30	講演会	「自閉症スペクトラムのライフスタイル」 志賀利一氏 (重度知的障害者総合施設のぞみ園)	石川県地場産業振 興センター	○	
3月29日 9:30～12:30	講演会	「発達障害のある子の読み書き支援」 河野俊寛氏 (星稜大学)	富樫プラザ	○	○
4月19日	第64回例会	事例検討会（保護者）	富樫プラザ	○	○
5月17日 9:30～12:30	講演会	「自閉症スペクトラムの子どもや大人の 人たちの余暇と社会活動」 安部陽子氏 (横浜市東部地域療育センター診療部)	石川県 地場産業振興センター	○	
6月 7日 9:30～12:30	能登例会 講演会	諏訪利明氏 (川崎医科大)	能登ふれあいセンター	○	
7月26日	第65回例会	事例報告（小学校教諭）	富樫プラザ	○	
8月					○

9月27日 9:30~12:30	講演会	「発達障害の見えと支援方法」 奥村智人氏 (大阪医科大LDセンター)	富樫プラザ	○	○
11月	第66回例会	事例報告(就労支援)	富樫プラザ	○	○

＜東京支部＞

	日程		講師・発表者	テーマ
1	3/22(日) 10:00~16:00 オリンピックセンター	定期総会 講演会	服巻智子	「ライフステージに添った支援」
2	5/10(日) 10:00~16:30 オリンピックセンター	基礎講座1	諏訪利明	「自閉症の特性に合わせた支援を考える」
3	6/20(土) 10:00~16:30 オリンピックセンター	基礎講座2・3	中山清司	「コミュニケーションとフォーマルアセスメント」
4	7/5(日) 13:00~16:30	事例検討会	黒田美保	テーマ「余暇」vol.1
5	8/1(土)2(日) 9:30~17:00 稲城iプラザ	2Dayワーク ショップ	黒田美保	「自立課題(ワークシステム)」
6	10/ 10:00~16:30	事例検討会	安倍陽子	テーマ「余暇」vol.2
7	11/15(日) 10:00~16:30	基礎講座4	諏訪利明	「自閉症特性とインフォーマルアセスメント」

- ・会場、時間は、都合により変更することもあります。受講者の方には別途ご案内いたします。
- ・最新の情報はブログ、メルマガで案内しています。

お申込み

東京支部HPの申込フォームもしくは【必要事項】を記入のうえメール、FAXからお申し込みください。

TEACCHプログラム研究会東京支部事務局

teachtokyo@gmail.com

http://teachtokyo.blogspot.jp/

FAX/留守電 050-3488-5766

＜神奈川支部＞

日時	内容	ご案内
3月7日(土) 8日(日)	TEACCHプログラム研究会実践研究大会 in 大阪 2015	山西福祉記念会館
4月24日(金) 19:00~20:30	◆TEACCHプログラム研究会神奈川支部 総会 【報告】「ノースカロライナからの風(第3弾)」 講師 諏訪 利明(川崎医療福祉大学)	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム1

5月8日(金) 19:00~20:30	【基礎講座1】「自閉症の特性について」 担当 五味 純子(運営役員)	社会福祉法人 県央福祉会法人会議室
6月12日(金) 19:00~20:30	【基礎講座2】「構造化について」 担当 鏡 京子(運営役員)	社会福祉法人 県央福祉会法人会議室
7月10日(金) 19:00~20:30	【基礎講座3】「コミュニケーションについて」 担当 山田 兼右(運営役員)	社会福祉法人 県央福祉会法人会議室
9月11日(金) 19:00~20:30	【基礎講座4】「自立について」 担当 川井 赳彦(運営役員)	社会福祉法人 県央福祉会法人会議室
10月9日(金) 19:00~20:30	【実践報告】テーマ未定 担当 宇山 秀一(運営役員)	社会福祉法人 県央福祉 会法人会議室
11月未定	【トレーニングセミナー】 会員限定企画を予定しております。 詳細が決定次第お知らせいたします。	未定
12月未定	【講演会】テーマ未定 講師 諏訪 利明(川崎医療福祉大学)	未定

※日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。

※基本の研修会については、**参加費 会員200円、非会員1,000円**です。トレセミ、講演会等については詳細が決まり次第お知らせいたします。

- <会場>◆ユニコムプラザ さがみはら (bono相模大野 サウスモール3階)
神奈川県相模原市南区相模大野3丁目3番
(小田急「相模大野」駅北口を出て徒歩3分)
◆社会福祉法人県央福祉会法人会議室
神奈川県大和市中心2-3-19 ウェスト・ビルディング 4F
(小田急・相鉄「大和」駅西口を出て徒歩5分)

TEACCHプログラム研究会 神奈川支部事務局
〒242-0021 神奈川県大和市中心 5-2-31 青柳ビル1F
やまと発達支援センターWANTS 内 宇山
【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-262-3232
【e-mail】teacchkanagawa@yahoo.co.jp

TEACCHプログラム研究会ブログ
(日程変更・活動報告等の最新情報はブログでご確認ください)
<http://teacch-kanagawa.blogspot.jp/>

< 愛知支部 >

月	日	支部主催の事業・内容・講師	共催後援 事業	会報 発行	総会など
1	18	講演会 「自閉症をもつ子どもたちへの支援」 講師：早川 星朗 氏 (ロイヤルベルクリニック小児科発達外来PRISM)		会報	総会 世話人会
2					世話人会
3					

4	18	定例会（会員限定） 「インシデントプロセス法を使って事例検討」 講師：小野 宏 氏（豊田西病院）			世話人会
5					
6	21	講演会&ワークショップ 「自立課題について」 講師：笠合 竜明 氏（相談支援事業所 きずな）			
7				会報	
8					
9	未定	定例会（会員限定） 「インシデントプロセス法を使って事例検討」 講師：小野 宏 氏（豊田西病院）			
10					
11	未定	実践報告会 助言者：未定			
12	13	講演会（仮） 講師：諏訪 利明 氏（川崎医療福祉大学）			

＜山梨支部＞

本年度は実践的な知識やスキルを習得したいという現場の要望にこたえて、現任職員向けの研修に注力します。シリーズで開催してきたTEACCH基礎講座は11月に自閉症eサービス代表中山清司先生をお迎えして10回目を開講予定です。

【運営会議】

件名	日時	内容
第1回 運営委員会	1月22日（木）	①今年度活動計画について ②活動の周知について ③総会準備
総会	2月7日（土）	①事業活動・決算報告 ②事業計画・予算案 ③役員選任
第2回 運営委員会	4月	
第3回 運営委員会	6月	
第4回 運営委員会	9月	講演会準備 等
第5回 運営委員会	12月	総会準備 等

【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
研修	未定 8月または9月 3月7～8日	①現任職員向け研修 (安倍陽子先生によるコンサルテーション?) ②TTAP研修 梅永雄二先生 教職員・成人施設職員向け研修 ③大阪実践研への参加
講演会	11月頃	中山清司先生 (TEACCH基礎講座X) テーマ: 未定
施設見学	未定	
報告会	年6回程度の頻度 で開催予定	会員相互の実践報告&勉強会

＜滋賀支部＞

日時	内容	講師等	場所
4月25日(土) 13:30~16:00	「自閉症スペクトラムの特性 理解」	講師: 井深 允子氏 (元滋賀県発達障がい者支援センターいぶ きセンター長)	G-Netしが (滋賀県男女共同 参画センター)
5月22日(金) 19:00~20:50	「自閉症スペクトラムの支援 ～場面の構造化」	講義・実践例報告 世話人会	コミュニティセンター やす
6月26日(金) 19:00~20:50	「自閉症スペクトラムの支援 ～時間、手順の構造化」	講義・実践例報告 世話人会	コミュニティセンター やす
7月24日(金) 19:00~20:50	「自閉症スペクトラムの支援 ～コミュニケーション」	講義・実践例報告 世話人会	コミュニティセンター やす
9月25日(金) 19:00~20:50	作業所での実践その1	第二さわらび作業所 (さわらび福祉会)	コミュニティセンター やす
10月23日(金) 19:00~20:50	作業所での実践その2	さくら工房 (NPO法人滋賀自閉症研究会たんぼぼ)	コミュニティセンター やす
11月27日(金) 19:00~20:50	事例検討会		コミュニティセンター やす

◇参加費: 会員無料、会員外500円 ◇申し込み: 不要、単発参加も可

◇例会の日時、会場の変更、例会内容の報告等は、ブログ、Facebookに掲載します。
例会前にチェックしてみてください。

ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/teacchshiga>

Facebook: <http://www.facebook.com/teacchshiga>

※支部会報「いまあじゅ」発行: 年二回(4月、9月予定)

＜京都支部＞

2015年度の講演会及び、例会の日程は下記のようにしております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時	講師（話題提供者）	所 属	タイトル・内容
1/17（土） 13:30～16:00 ハートピア京都 第4、5会議室	田中 浩一郎 氏	京都市児童福祉センター 児童精神科医師	「自閉症スペクトラムの人が、二次障害をおこさずにハッピーに生きていくために」
4/25（土） 例会13:30～16:30 京都社会福祉会館 第2会議室	新田 亮子 氏	京都府立向が丘支援学校 教諭	小学校から中等部に入學してきた生徒の支援 －取り出し指導を通して－
6/27（土） 例会13:30～16:30 京都社会福祉会館 第2会議室	小澤 牧子 氏	京都市立北総合支援学校 教諭	学校での取り組み
9/19（土） 例会13:30～16:30 京都社会福祉会館	南山城学園 光 支援者	南山城学園 光	成人施設における支援（仮題）
11/21（土） 例会13:30～16:30 京都社会福祉会館	NPO法人あすく 支援者	NPO法人あすく	成人期の性への支援 ～男性利用者さんのケースを通して～（仮題）

※4月以降の例会につきましては、日程等変更になる可能性があります。おそれいりますが、TEACCHプログラム研究会京都支部のブログでお確かめくださいますようお願いいたします。

※例会の開催場所は、京都社会福祉会館です。

（〒602-8143 京都市上京区堀川通り丸太町下る（二条城北側）TEL 075-801-6301）

※参加費：会員は無料 非会員は¥500 です。

※各種お問い合わせは、支部メールアドレスまでお願いいたします。 kteacch@gmail.com



＜大阪支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催 後援事業	会報の発行	総会、 世話人会など
1月	31(土)	13:00～ 16:30	運営委員会			
2月	22(日)	13:00～ 16:30	運営委員会		いまあじゅ発行 年間計画発行	
3月	7(土)～ 8(日)	13:00～ 12:30	実践報告会in大阪2015			
4月						
5月	15(土)	14:00～ 16:30	公開講座「ADS医療と連携行政の今」 (仮題) 講師 内山 登紀雄 氏 (福島大学大学院 教授)		いまあじゅ発行	総会
6月	20(土)	14:00～ 16:30	月例会「家庭での療育の今」 話題提供者 柳 マリ子 氏 (保護者) コメンテーター 新澤 伸子 氏 (梅花女子大学 教授) 話題提供者 松田 睦美 氏 (保護者) コメンテーター 井上 芳子 氏 (大阪市発達支援センター)		ぷらう発行	
7月	18(土)	14:00～ 16:30	月例会「ASDアセスメントの今」 講師 黒田 美保 氏 (福島大学 特任教授)			
8月						
9月	19(土)	14:00～ 16:30	月例会「TEACCHプログラムの今」 講師 諏訪 利明 氏 (川崎医療福祉大学 准教授)			
10月		14:00～ 16:30	月例会「自閉症の行動理解と支援」 講師 重松 孝治 氏 (川崎医療短期大学 講師)		いまあじゅ発行	
11月		14:00～ 16:30	月例会「大阪の就学前療育と行政の今」 講師 長富 義隆 氏 (こどもデイケアいずみ 施設長)		ぷらう発行	
12月		14:00～ 16:30	月例会「ASD療育と作業療法の今」 講師 倉沢 茂樹 氏 (関西福祉科学大学 准教授)			

＜ 鳥取支部 ＞

【運営会議】

件名	日時	内容
第1回 運営委員会	1月12日（月）	①今年度活動計画について ②総会準備
総会	2月28日（土）	①事業活動・決算報告 ②事業計画・予算案

【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
研修 （鳥取会場） 場所： NPO法人 アプローチ来夢	5月 7日（木） 18:30～20:00	○DVD上映会（自閉症の人が見ている世界①） ○事例検討
	6月 4日（木） 18:30～20:00	○DVD上映会（自閉症の人が見ている世界②） ○事例検討
	7月 2日（木） 18:30～20:00	○DVD上映会（自閉症の人が見ている世界③） ○事例検討
	8月 6日（木） 18:30～20:00	○DVD上映会（自閉症の人が求める支援①） ○事例検討
	9月 3日（木） 18:30～20:00	○DVD上映会（自閉症の人が求める支援②） ○事例検討
	10月 1日（木） 18:30～20:00	○DVD上映会（自閉症の人が求める支援③） ○事例検討
	11月 5日（木） 18:30～20:00	○DVD上映会（発達障害者支援①） ○事例検討
	12月 3日（木） 18:30～20:00	○DVD上映会（発達障害者支援②） ○事例検討
研修会 （境港会場） 場所： NPO法人陽なた	4月25日（金）	○TEACCHプログラムとは （自閉症スペクトラム最新情報）
	8月28日（金）	○ケース検討会
	10月23日（金）	○座談会 支援者のケースを通じた現状報告（幼児期～青年期）
	12月25日（金）	○座談会（井上雅彦氏 療育小話）
講演会	7月 未定	○NPO法人陽なた設立記念講演会
	8月 未定	○強度行動障がい者と地域生活 信原和典氏

＜香川支部＞

今年度(2015年)は2月より例会(学習会)を始めます。原則として毎月第3日曜日の開催ですが、2月・3月は第4日曜日、10月は公開講演会のため第1日曜日となっています。ご確認ください。

今年の例会では、前半はその月のテーマに関する基本的な講義、後半はそのテーマに沿ったフリートークや演習を行うという構成にし、より参加型の学習会を目指しています。

みなさんのご参加、お待ちしております！

日 時	活動内容	講 師	日 時
2月22日(日)	10:00～ 12:00	成人期の支援(長期計画)	福家 輝雅 氏 (NPO法人すぶ～ん) 丸岡 玲子 氏 (NPO法人ふぁみりいNOTE)
3月22日(日)	10:00～ 12:00	TEACCHプログラムの基本	高原 淳一 氏 (香川大学教育学部附属支援学校)
		実践大会参加報告	越智 早智 氏 西村 健一 氏 (香川県立高松養護学校)
4月19日(日)	10:00～ 12:00	コミュニケーション支援について	池上 勝治 氏 (香川県立高松養護学校)
5月17日(日)	10:00～ 12:00	合理的配慮と TEACCH ～豊かな人生につなげるために～	坂井 聡 氏 (香川大学教育学部)
6月21日(日)	10:00～ 12:00	家庭でできる構造化入門	草原 比呂志 氏 (あじの里地域生活支援センター)
7月19日(日)	10:00～ 12:00	「問題行動」への支援について	滝澤 健 氏 (香川大学教育学部附属支援学校)
9月20日(日)	10:00～ 12:00	自閉症の感覚・運動面の理解と支援	木村 健一 氏 (香川県立香川東部養護学校)
10月 4日(日)	14:00～ 16:00	★公開講演会★ 演題(未定)	苅田 知則 氏 (愛媛大学)
11月15日(日)	10:00～ 12:00	実践紹介 ～特別支援学校での取組み～	松下 圭輔 氏 (香川県立香川東部養護学校)
12月20日(日)	10:00～ 12:00	座談会 ～自閉症への支援 Q&A～	繪内 利啓 氏 (えないメンタルクリニック)

※内容・講師は変更する場合があります

＜福岡支部＞

日 時	活動内容	アドバイザー (すべて予定)	会 場
3月	ODVD上映会案内状送付		
4月14日(火) 18:30～20:00	ODVD上映会(自閉症の人が見ている世界) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付・ ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
5月16日(土) 13:30～16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 報告者:募集	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学

6月9日(火) 18:30~20:00	ODVD上映会 (自閉症の人が見ている世界) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
7月18日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 報告者:募集	納富恵子氏 (福岡教育大学)	西南学院大学
9月8日(火) 18:30~20:00	ODVD上映会 (自閉症の人が見ている世界) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
10月17日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 報告者:募集	緒方よしみ氏 (福岡市発達障がい者支援センター)	西南学院大学
11月10日(火) 18:30~20:00	ODVD上映会 (自閉症の子どもの評価) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
12月19日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 記念講演 (タイトル未定) 講師:未定 ○平成27年度総会	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学

※自閉症スペクトラム実践研修会の実践報告者は、随時募集します。

※日時、アドバイザー、会場については予定であるため、変更される場合もあります。

< 佐賀支部 >

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催後援事業	会報発行	総会など
2月	14日	9:30-11:30	定例学習会「行動について」 講師 肥前精神医療センター 中山 政弘 氏 会場 アバンセ 第2研修室			代表者会
3月	14日	9:30-11:30	定例学習会 「成人支援について」 講師 another planet (アナザープラネット) 納富 奈緒子 氏 篠田 朋子 氏 田代 亜希子 氏 会場 ほほえみ館 視聴覚室			支部総会
4月	4日	14:00-	世界自閉症啓発デイ 佐賀イベント 映画上映会 「星の国から孫ふたり～『自閉症』児の贈りもの～」	主催: 佐賀県自閉症協会 共催: 佐賀県発達障害者支援センター 結 TEACCH研佐賀支部		

	29日	13:00- 16:30	公開講演会 「自閉症スペクトラム—理解と支援について—」 講師 京都市児童福祉センター 副センター長 児童精神科医 門 眞一郎 氏 自閉症スペクトラム当事者 小道 モコ 氏 会場 武雄市文化会館 小ホール	主催： Anotherplanet (アナザー プ ラネット) 共催： TEACCH研佐賀 支部		
5月	23日	9:30- 11:30	定例学習会「構造化について」 講師 オーティズム・リサーチ& コンサルタンシー 服巻 智子 氏 会場 ほほえみ館 視聴覚室		ぷらう 春号送付	
6月	13日 要確認	9:30- 11:30	定例学習会「診断について」 講師 肥前精神医療センター 佐川 陽子 氏 会場 佐賀市文化会館 大会議室			
7月	未定	9:30- 11:30	定例学習会 未定 講師 NPO法人それいゆ 野間 康美 氏 会場 未定			理事会報告
8月	未定	9:30- 11:30	定例学習会「IEPについて」 講師 特別支援学校教員 瀬尾 裕子 氏 会場 未定			
9月	19日	未定	定例学習会 未定 講師 長崎大学 岩永 竜一郎 氏 会場 未定			
10月	31日	9:30- 11:30	定例学習会「早期発見、早期療育について」 講師 オーティズム・リサーチ& コンサルタンシー 服巻 智子 氏 会場 未定			代表者会
11月	28日	9:30- 11:30	定例学習会 未定 講師 オーティズム・リサーチ& コンサルタンシー 服巻 智子 氏 会場 未定		ぷらう 秋号送付	支部総会
12月	未定		定例学習会 未定			

*日時、内容等が変更になる場合があります。変更等は、HPにてお知らせしますので、直前の確認をお願いします。

＜大分支部＞

期日	活動内容・講師	
1月31日(日) 13:00～13:30 14:00～16:00	大分こども発達 支援センター	13:00～ 大分支部総会 講演会① テーマ：自閉症スペクトラムの支援について 講 師：野間 康美先生(NPO法人それいゆ ディレクター)

3月7～8日	大阪市	第12回 TEACCHプログラム研究会 実践研究大会
3月9日(月)	国東	サロンドティーチ(国東)
3月16日(月)	大分	サロンドティーチ(大分)
5月31日(日) 10:30～12:00 13:00～15:00	大分こども発達 支援センター	10:30～ 基礎講座① テーマ：自閉症スペクトラムを理解する(仮) 講師：三ヶ田 智弘 13:00～ サロンドティーチ(大分)
6月28日(日) 10:00～15:00	別府大学 大分キャンパス (大分市野田)	講演会② テーマ：ASDのある人へのコミュニケーション支援 講師：坂井 聡先生 (香川大学教育学部特別支援教育講座 教授)
8月2日(日) 10:30～12:00 13:00～15:00	大分こども発達 支援センター	10:30～ 基礎講座② テーマ：自閉症スペクトラムをもつ人への様々な支援(仮) 講師：三ヶ田 智弘 13:00～ サロンドティーチ(大分)
9月6日(日) 10:30～12:00 13:00～15:00	大分こども発達 支援センター	10:30～ 基礎講座③ テーマ：自閉症スペクトラムをもつ人の将来への備え(仮) 講師：三ヶ田 智弘 13:00～ サロンドティーチ(大分)
11月29日(日) 10:00～15:00	調整中	講演会③ テーマ：未定 講師：岩永 竜一先生 (長崎大学医学部保健学科作業療法学専攻 准教授)

* 日程・会場・内容などは変更する場合があります。

* 開場は、30分前になります。

* 基礎講座の会員の参加費は無料です。非会員の参加費は500円です。

* 講演会の参加費は、別途お知らせいたします。

* サロンドティーチは、大分、国東、日田、豊後高田/宇佐地区で開催予定です。詳細が決まりましたら別途お知らせします。なお、サロンドティーチは原則、会員のみでの参加です。

◆大分支部のホームページ 開催しました！

ホームページのアドレスは <http://teacchoita.web.fc2.com/> です。

会員ページは、準備中です。

< 熊本支部 >

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催後援事業	会報発行	総会など
1	17	13:30～ 16:30	平成27年度 熊本支部総会 特別講演 「思春期への対応(二次障害の予防)」 講師：大分こども療育センター 三ヶ田 智弘 先生			支部総会
2						
3						理事会報告

4		14:00~ 16:30	基礎講座 内容：自閉症の特性、構造化等について 講師：オフィスぼん代表 天才塾bon塾長 中山 清司 先生			世話人会
5					ぷらう 春号送付	
6						世話人会 理事会 報告
7	計画中		ワークショップ（計画中） コミュニケーション 講演＋ワークショップ 講師：医療福祉学部 医療福祉学科 准教授 諏訪 利明 先生			世話人会
8						
9						世話人会
10	18	14:00~ 16:30	実践報告 コミュニケーション関係、その他の実践報告			世話人会
11					ぷらう 秋号送付	
12						世話人会

*日時、内容等が変更になる場合があります。
会毎に案内を送付しますので、ご確認をお願いします。

TEACCH 研 HP について

TEACCH 研ホームページをご覧いただきありがとうございます。しかし、なかなか更新ができておらず、ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。最新な情報が提供できるよう、今年度より、担当者二人体制で行っていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。ゴールデンウィーク前後に、第一弾でリニューアルを行いたいと思います。その後、順次更新予定。

また、TEACCH 研をもっと多くの方に知ってもらいたいため、会報誌「ぷらう」のパスワード設定を廃止し、自由に見ることができるようになります。その他SNSの活用も検討中です。

リニューアル予定

- ①TEACCH についての内容更新
- ②TEACCH 研についての内容更新
- ③TEACCH 研の歴史を追加
- ④本部事業についての整理・更新
- ⑤支部情報・連絡先の更新
- ⑦会員ページの廃止



その他必要に応じて更新をしていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

(HP担当)

TEACCH コラボレーションセミナー 2016

毎回、大きな学びと感動を与えてくれるコラボレーションセミナーも5回目となります。今回は、TEACCHの新しいディレクターであるローラ・クリンガー先生をお迎えして、「精神科的問題と不安への対処」をテーマとして開催することになりました。

コラボレーションセミナーは、ノースカロライナから講師をお招きして、最新のTEACCHの情報についてお話しいただき、同じテーマで日本の実践について意見交流するという充実したプログラムです。

このセミナーは会員外の方の参加も可能です。また、この機会に入会していただくと会員価格で参加していただくこともできます。会員の方も非会員のかたもぜひ今からご予約いただき、多くの方に参加していただければと思います。

講師： **ローラ・クリンガー 氏**

(TEACCH Autism Program エグゼクティブディレクター)

日程： **2016年2月20日(土) / 21日(日)**

会場： **京都シルクホール** (京都市営地下鉄烏丸線四条駅、阪急烏丸駅 下車すぐ)

参加費： **会員 6,000円 一般 12,000円**

※ 新入会の方は、入会金 1000円、年会費 4000円、会員参加費 6000円をあわせて 11000円になります。

プログラム

■1日目 講演 『精神科的問題と不安への対処』(仮題)

自閉症スペクトラムに併存する症状や問題について解説していただき、その中でも特に多い不安に対する介入アプローチについてお話いただく予定です。

■2日目 実践報告とディスカッション

TEACCH 研の会員から、精神科的問題や不安に関する日本の実践を報告し、クリンガー先生を交えて情報や意見の交換を行います。

詳細は、秋に配布するチラシまたはホームページをご覧ください。申し込み方法もその際にお知らせいたします。お見逃しなく！

